



こんにちは 日本共産党府議会議員

# さこ祐仁 議会報告

2009年9月13日発行 78

連絡場所  
日本共産党北地区委員会 432-3261  
上京生活相談所 813-2117

## 大敗 自公政権に 国民の審判！ 日本共産党9議席を確保

8月30日投回票行われた衆議院選挙で、国民の暮らしや平和を壊してきた自民・公明政権が国民のきびしい批判にさらされ、歴史的な大敗を喫し、自公政権は退場しました。政権が変わります。

国民の一票で政治を動かすことができると実感します。

日本共産党はきびしい条件の中で、現有の議席を獲得できました。今後「建設的野党」として果たす役割がますます重要になってきます。選挙公約実現に国民運動と共同して力を尽くしていきます。

民主党中心の政権に対して「良いことには協力、悪いことにはきっぱり反対、問題点はただす立場で、国民の利益にたつて積極的に働きかけ、現実政治を前に動かしていくため、奮闘します。同時に「財界中心」「軍事同盟中心」という旧来の政治の問題点は、根本からただし、「国民が主人公」の新しい日本へと、日本の政治を

前に進めるために力を尽くしていきます。

まちな声 「よかつたねえ！ あんたんとこ（＝共産党）、これだけ民主党持ち上げの厳しい中で、よく頑張った」「テレビ討論での『建設的野党』何でも反対でなく、いいことには賛成して協力するというあの発言がよかつた」「自民党や公明党の大物がどんどん落選して気持ち良かった」「民主党は、フラフラしているから共産党がシャンとして、後期高齢者医療制度、派遣労働の抜本改正頼みますよ」「財源問題がこれ



## 府民の声を実現する府政を

その中で戦われる来春の知事選挙は、大転換となるのか？それとも、相変わらずのオール与党・相乗り体制でいくのか、府民の目は厳しく見ている。「政権交代」をいい「官僚政治の打破」主張した民主党が、官僚出身の現知事を推すのか。また、別の候補者を擁立するのかどうか。

今度の選挙で示された「自公政治ノー」の声は、構造改革路線によつて切り捨てられた、医療・福祉、社会保障、雇用、中小企業、農業、地方とふるさとの怒りの声である。いまの京都の医療破壊と医師不足の引き金となったのは、現知事による府立洛東病院の廃止であったことは明白です。門 祐輔さんは、この間、医療関係者、大学関係者、経済界、市町村長などと懇談され、また総選挙

後、さつそく北部の機械金属業者や観光業者などと懇談し、現状認識や打開策についてしっかりと理念を持っておられ、この人こそ「いのちを守り、府政をかえる」ことのできる候補者だと確信を持って推薦できる。

### 京都府政にはリハビリが必要です

門 ゆうすけ

私の医師としての専門はリハビリです。「リハビリテーション」には「あるべき姿を取り戻す」という意味があります。貧困と格差が広がるなか、京都府はその防波堤となつていません。それどころか、さらに格差を広げるような政策をとつていきます。住む人がいきいきと暮らせる京都へ、「あるべき姿」を取り戻したい。

### 久しぶりにわが家の様子

9月1日は次男坊の誕生日 家族でささやかに祝いパーティーしました。「また一つ年取った」なんて言っていますが、今が一番いい年頃ですよ。青春をしっかりと謳歌してほしい。

9月2日 三男坊の高校の文化祭 昨年二男の演劇を見て感動し、今年三男がどんなパフォーマンスをするのか楽しみで参加しました。クラスがまとまっていってよかつたのではなかなって 親バカですが見えています。

